

企画情報部報 (平成二十一年度)

オーブンレクチャー

第四十三回オーブンレクチャー「人とモノの力学」を研究所セミナー室において左記のとおり開催した。

十月二日(金) 午後一時三十分～四時三十分

「異国」をこしらえるー「玄奘三蔵絵」をめぐる

土屋貴裕

宋朝からみた日本僧ー仏法・国土と文物交流の世界

大和文華館 塚本磨充

十月三日(土) 午後一時三十分～四時三十分

大谷探検隊収集西域壁画の光学的調査

中野照男

チベット宗教世界と大谷探検隊

広島大学 白須浄真

黒田清輝共催展

昭和五十二年以来、毎年開催してきた黒田清輝共催展(近代日本洋画の巨匠 黒田清輝展)を、平成二十一年七月十八日(土)から八月三十一日(月)まで、島根県立石見美術館で開催した。

特集陳列

平成二十二年二月二十五日(木)から、七月一〇日(土)まで、黒田記念館において特集陳列「赤外線的眼で見る《昔語り》」を開催した。

研究会

四月二十一日 想IMAGINEデモ

当部客員研究員・国立情報学研究所 中村佳史

四月二十二日 福岡城本丸御殿の雲谷派障子絵について

綿田 稔

試論「新しい女」と「風船を持つ女」

ー萬鉄五郎作《風船を持つ女》の制作背景と表現 田中 淳

五月二十七日 近世初期風俗画の実在感

江村知子

六月二十三日

連想でひろがる美術資料の情報発信

丸川雄三

七月二十九日

川端玉章の研究ー玉章の「支那画」観

塩谷 純

九月三十日

今泉雄作「記事珠」の研究・中間報告ー宝物調査日記を中心に

十一月二十五日

奈良国立博物館蔵 木造南無仏太子立像とその周辺 津田徹英

十二月二十五日

法隆寺金堂壁画四大陸の四方四仏説をめぐる 勝木言一郎

二月二十五日

二人の将軍を描いた曾我物語図屏風

相澤正彦

一月二十七日

黒田記念館の平成二十一年度受贈作品について

二月十二日

ー黒田清輝筆《舟》《芍薬》、《日清役二龍山砲台突撃図》、《林政文肖像》二点 山梨絵美子

彩色材料名称形成過程における染料と顔料の混在について

近代京都画壇と家ー近代における和風建築の表現と画家の貢献

二月二十五日

ー英国における日本美術研究の現場から

セインズベリーー日本藝術研究所と英国の文化財アーカイブ

セインズベリーー日本藝術研究所の活動と資料

デイスカッション

セインズベリーー日本藝術研究所と英国の文化財アーカイブ

セインズベリーー日本藝術研究所の活動と資料

ー英国における日本美術研究の現場から

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 平野 明

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 森下正昭

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 出光美術館 出光佐千子

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 塩谷 純

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 塩谷 純

パネラー セインズベリーー日本藝術研究所 塩谷 純

研究会 塩谷 純

(アートドキュメンテーション学会との共催)

三月二十四日 ポートランド美術館所蔵作品調査報告

綿田 稔

江村 知子

土屋 貴裕

コメンテーター 出光美術館 河合 正朝

『美術研究』四〇〇号・『美術史論壇』三〇号記念シンポジウム「人とモノの『力学』

―美術史における『評価』―開催にむけての協議会

第一回(四月十六日) 梨花女子大学大学院教授・韓国美術研究所長 洪 善 杓

東国大学校教授・韓国美術史学会会長 鄭 于 澤

企画情報部員

第二回(二月二十八日) 梨花女子大学大学院教授・韓国美術研究所長 洪 善 杓

東国大学校教授・韓国美術史学会会長 鄭 于 澤

韓国美術研究所学術主任 文 貞 姫

ソウル大学助教授 張 辰 城

韓国美術研究所専任研究員 徐 潤 慶

企画情報部員

刊 行 物

『東京文化財研究所七十五年史 本文編』 平成二十一年十二月

『平等院鳳凰堂 仏後壁 調査資料目録―近赤外線画像編―』 平成二十二年 二月

『日本美術年鑑(平成二〇年版)』 平成二十二年 三月

『オリジナルの行方―文化財アーカイブ構築のために』 平成二十二年 三月

『春日権現験記絵披見台 共同研究調査報告書』 平成二十二年 三月

『黒田清輝フランス語資料集』 平成二十二年 三月